

平成23年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	国際共同製作による地域コンテンツの海外展開		担当部局庁	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	情報通信作品振興課		課長 竹村 晃一		
会計区分	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第65号		関係する計画、通知等	政策推進指針、新成長戦略、知的財産推進計画、新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>新成長戦略において、「クール・ジャパンの発信、輸出、海外展開施策の実施」を通じて、コンテンツ産業を含めた我が国の産業の国際競争力を図ることが経済成長に大きく貢献するとされおり、本施策において、国際共同製作に関するガイドラインを作成し、日本を紹介するコンテンツを海外へ発信することにより我が国の認知度の向上に貢献する。</p> <p>また、東日本大震災によって毀損したブランド価値を回復し、風評被害の除去・是正を図るには、日本の視点だけではなく、海外メディアの視点も踏まえた映像を世界に向けて発信が必要である。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・日本のコンテンツ事業者等が海外の放送局と連携し、わが国を紹介するコンテンツの共同製作を通じた調査研究を実施</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	92	92	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	92	92	
	執行額	-	-	-	89			
	執行率(%)	-	-	-	96.7%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(24年度)
	国際共同製作を行う相手国	成果実績	国	-	-	-	5	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	合計15本の国際共同製作を行い、効果検証を経て、国際共同製作に関するガイドラインを策定する。		活動実績(当初見込み)	本	-	-	-	() (15)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	電気通信技術研究開発調査費	92	92					
	計	92	92					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>新成長戦略において、「クール・ジャパンの発信、輸出、海外展開施策の実施」を通じて、コンテンツ産業を含めた我が国の産業の国際競争力を図ることが経済成長に大きく貢献するとされおり、本施策において、国際共同製作に関するガイドラインを作成し、日本を紹介するコンテンツを海外へ発信することで我が国の認知度の向上に貢献するものであることから、国が実施する必要がある施策である。また、支出先の選定については、一般競争入札により、3社の入札があり、競争性が確保されており、実施手段についても、3社の提案書について有識者の意見を踏まえ総合評価落札方式により選定していることから、有効な手段が確保されている。なお、国際共同制作の本数については、当初目標の15本を実施できる予定である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>事業所管部局による点検が十分行われている。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>平成24年度概算要求においては、調査研究項目を精査し、真に必要な項目のみを要求することにより、394千円削減している。平成23年度の執行においては、請負事業者と念慮な連絡をとるなど、効率的な執行となるよう努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		#REF!	計		#REF!
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					